

## 北陸地域の金融経済の特徴

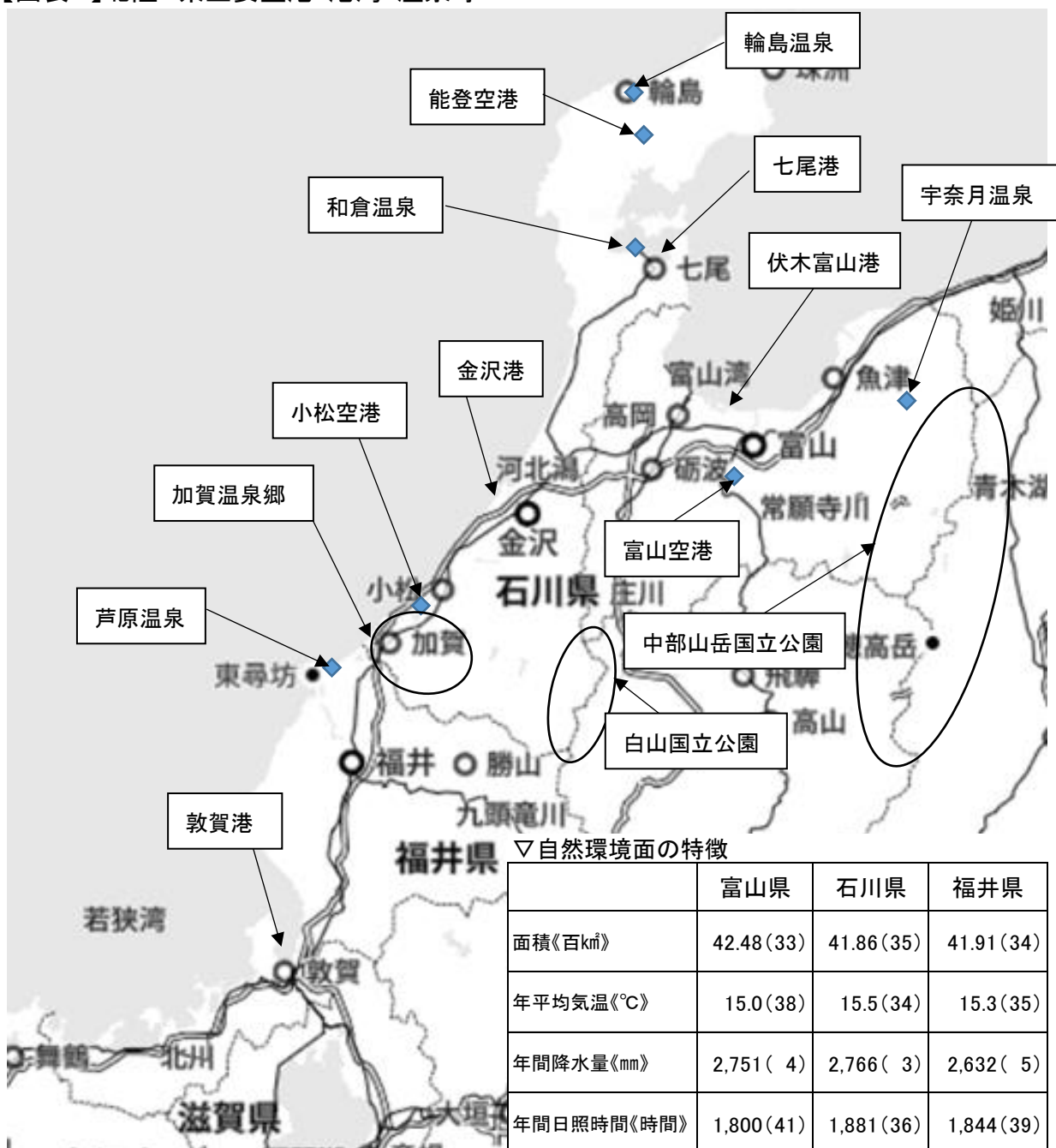
### 目次

(1) 地理、気候、交通、面積	・・・	1
(2) 人口	・・・	2
(3) 産業構造	・・・	3
(4) 生産	・・・	5
(5) 個人消費	・・・	6
(6) 設備投資、住宅投資、公共投資	・・・	7
(7) 雇用・所得	・・・	8
(8) 金融面	・・・	9

(1) 地理、気候、交通、面積

- 北陸(富山県、石川県、福井県)は、本州中央部の日本海側に位置している。気候は、日本海側特有の多雨多湿型で、特に冬季の降雪が多い。
- 空港では、富山空港、能登空港、小松空港が定期便を有しており、港湾では、日本海側周辺諸国との貿易・交流拠点として、伏木富山港、金沢港、敦賀港が「日本海側拠点港」に選定されている(このうち伏木富山港は「総合的拠点港」)。
- 宇奈月、輪島、和倉、加賀温泉郷(山中、山代、片山津、粟津)、芦原など温泉地が多いことも特徴。

【図表 1】北陸3県主要空港・港湾・温泉等



(出所) 国土地理院地図を基に日本銀行金沢支店作成

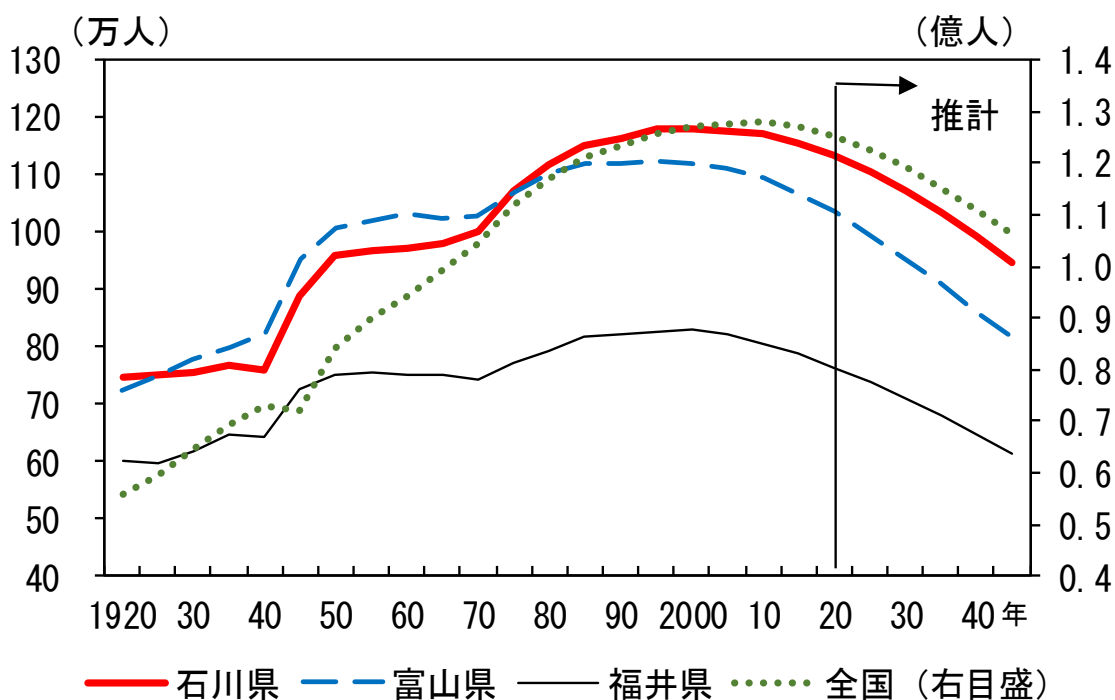
(注) ( ) は都道府県順位。面積以外は、各県庁所在地のデータ。

(出所) 総務省「統計でみる都道府県のすがた 2020」

(2)人口

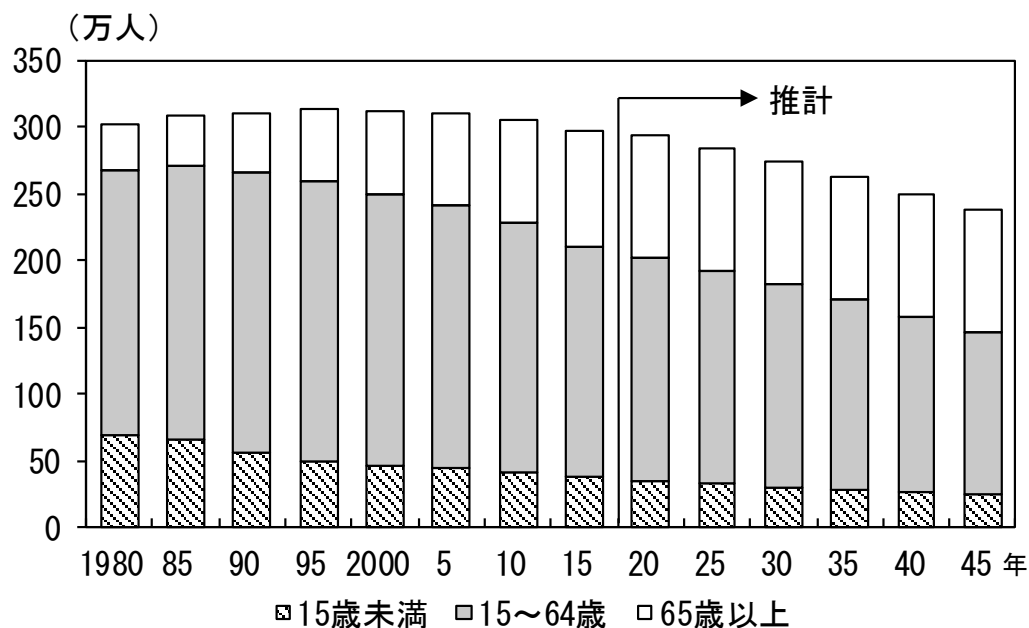
- 北陸3県の人口は、約 300 万人。2000 年頃をピークに減少が続き、今後も一段と人口減少が進むと想定されている。
- 年齢別人口をみると、出生数の減少や若年層の県外流出により、年少人口(15 歳未満)および生産年齢人口(15~64 歳)が減少し、老年人口(65 歳以上)が増加する少子高齢化が進んでいる。

【図表2】人口推移(北陸3県・全国)



(出所)総務省「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」

【図表3】年齢別人口推移(北陸)



(出所)総務省「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」

### (3) 産業構造

(製造品出荷額等)

■ 北陸の製造品出荷額等は、①生産用機械(工作機械、建設機械、繊維機械等)、②化学(医薬品等)、③電子部品・デバイスの上位3業種で約4割を占めており、ウェイトも全国と比べて大きい。一方で、輸送用機械のウェイトは全国と比べて小さい。

【図表4】主要業種別の製造品出荷額等・構成比(北陸3県・全国)

	2018年					5年前差				
	全国	北陸	富山	石川	福井	全国	北陸	富山	石川	福井
	食料品	29,782	399	158	182	59	+4,833	+53	+20	+30
繊維	3,782	505	66	197	242	+14	+4	▲ 7	+4	+8
化学	29,788	1,187	744	193	250	+2,379	+224	+197	+67	▲ 40
金属製品	15,822	680	414	153	113	+2,761	+126	+53	+34	+39
生産用機械	22,048	1,526	573	838	115	+6,893	+563	+290	+244	+28
電子部品・デバイス	16,143	1,116	360	416	340	+3,199	+251	+67	+102	+83
輸送用機械	70,091	547	155	182	210	+11,887	+189	+20	+68	+101
上記業種以外	144,354	3,462	1,561	981	921	+7,750	+426	+60	+167	+199
合計	331,809	9,422	4,032	3,141	2,249	+39,717	+1,837	+701	+717	+419

	2018年					5年前差				
	全国	北陸	富山	石川	福井	全国	北陸	富山	石川	福井
食料品	9.0	4.2	3.9	5.8	2.6	+0.4	▲ 0.3	▲ 0.2	▲ 0.5	▲ 0.5
繊維	1.1	5.4	1.6	6.3	10.8	▲ 0.2	▲ 1.2	▲ 0.6	▲ 1.7	▲ 2.1
化学	9.0	12.6	18.4	6.2	11.1	▲ 0.4	▲ 0.1	+2.0	+0.9	▲ 4.7
金属製品	4.8	7.2	10.3	4.9	5.0	+0.3	▲ 0.1	▲ 0.6	▲ 0.0	+1.0
生産用機械	6.6	16.2	14.2	26.7	5.1	+1.5	+3.5	+5.7	+2.2	+0.4
電子部品・デバイス	4.9	11.8	8.9	13.2	15.1	+0.4	+0.4	+0.1	+0.3	+1.1
輸送用機械	21.1	5.8	3.9	5.8	9.3	+1.2	+1.1	▲ 0.2	+1.1	+3.4
上記業種以外	43.5	36.7	38.7	31.2	40.9	▲ 3.3	▲ 3.3	▲ 6.3	▲ 2.3	+1.5
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0					

(注)シャドーは、それぞれの地域・県で実額または構成比が最も大きい業種。

(出所)経済産業省「工業統計調査」

(県内総生産)

■ 北陸3県の域内総生産(2017年度)は、12兆5,838億円(全国の約2.3%)。支出項目の構成比では、全国と比べて、民間最終消費支出の「交通」や「教育」、総固定資本形成の「企業設備」(民間)などのウェイトが大きい。

【図表5】県内(国内)総生産(名目、支出項目)の構成比(北陸3県・全国)

(%、%P)

	2017年度					5年前差				
	全国	北陸	富山	石川	福井	全国	北陸	富山	石川	福井
民間最終消費支出	55.4	56.1	54.7	57.7	55.8	▲ 3.4	▲ 1.9	▲ 1.6	▲ 3.4	▲ 0.7
家計最終消費支出	53.9	54.6	53.4	56.2	54.1	▲ 3.4	▲ 2.0	▲ 1.5	▲ 3.5	▲ 0.9
食料・非アルコール飲料	8.4	8.3	8.2	8.5	7.9	+0.1	▲ 0.1	+0.1	▲ 0.4	▲ 0.1
アルコール飲料・たばこ	1.2	1.3	1.3	1.4	1.1	▲ 0.2	▲ 0.1	▲ 0.1	▲ 0.1	▲ 0.1
被服・履物	1.8	1.6	1.4	1.8	1.5	▲ 0.2	▲ 0.2	▲ 0.3	▲ 0.2	▲ 0.2
住居・電気・ガス・水道	13.6	13.7	13.0	14.8	13.2	▲ 1.5	▲ 0.9	▲ 0.8	▲ 1.6	▲ 0.1
家具・家庭用機器・家事サービス	2.28	2.32	2.4	2.4	2.1	+0.1	+0.1	+0.1	+0.2	+0.1
保健・医療	2.03	1.96	2.2	2.1	1.4	▲ 0.1	+0.0	+0.0	+0.0	+0.0
交通	5.5	6.1	6.5	5.4	6.6	▲ 0.6	▲ 0.5	▲ 0.1	▲ 0.6	▲ 0.8
通信	1.99	2.05	1.9	2.1	2.1	▲ 0.0	+0.0	+0.1	▲ 0.0	+0.1
娯楽・レジャー・文化	4.2	4.0	3.7	4.1	4.2	▲ 0.5	▲ 0.3	▲ 0.4	▲ 0.5	+0.2
教育	1.1	1.4	0.9	0.9	2.7	+0.0	+0.2	▲ 0.0	▲ 0.1	+0.7
外食・宿泊	4.3	3.7	3.3	4.6	3.1	▲ 0.1	▲ 0.2	▲ 0.4	+0.0	▲ 0.4
対家計民間非営利団体最終消費支出	1.45	1.44	1.3	1.4	1.7	▲ 0.0	+0.1	▲ 0.1	+0.1	+0.2
政府最終消費支出	19.6	20.5	18.6	20.3	23.6	▲ 0.7	▲ 0.5	▲ 0.5	▲ 1.5	+0.7
総資本形成	24.1	26.4	27.5	23.5	29.2	+1.5	+0.3	+0.8	▲ 4.0	+5.5
総固定資本形成	23.8	25.8	26.8	22.9	28.3	+1.4	▲ 0.3	+0.4	▲ 4.1	+4.1
民間	18.8	19.7	22.0	17.0	20.6	+1.3	+1.4	+2.5	▲ 1.1	+3.5
住宅	3.1	2.9	3.1	3.0	2.4	+0.1	+0.3	+0.5	+0.1	+0.1
企業設備	15.7	16.9	18.9	14.0	18.2	+1.2	+1.2	+2.0	▲ 1.2	+3.4
公的	5.0	6.0	4.9	5.9	7.8	+0.1	▲ 1.7	▲ 2.1	▲ 3.0	+0.6
在庫変動	0.3	0.7	0.6	0.6	0.9	+0.1	+0.6	+0.4	+0.1	+1.4
財貨・サービスの移出入(純輸出)・統計上の不具合	0.9	▲ 3.1	▲ 0.7	▲ 1.4	▲ 8.6	+2.7	+2.2	+1.2	+8.9	▲ 5.5
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0					

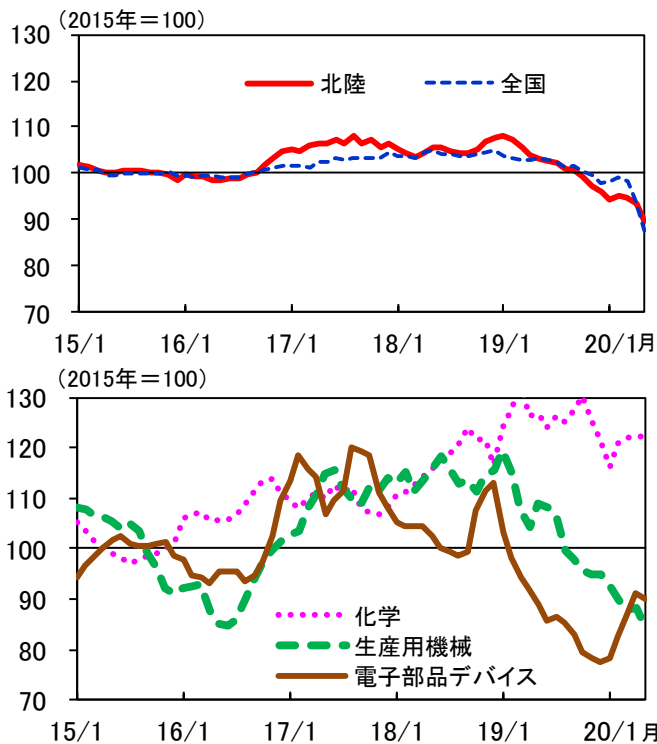
(注)シャドウは、北陸が全国のウェイトを上回る項目。

(出所)富山県「県民経済計算の概要」、石川県「石川県県民経済計算」、福井県「福井県県民経済計算」、内閣府「国民経済計算」

#### (4) 生産

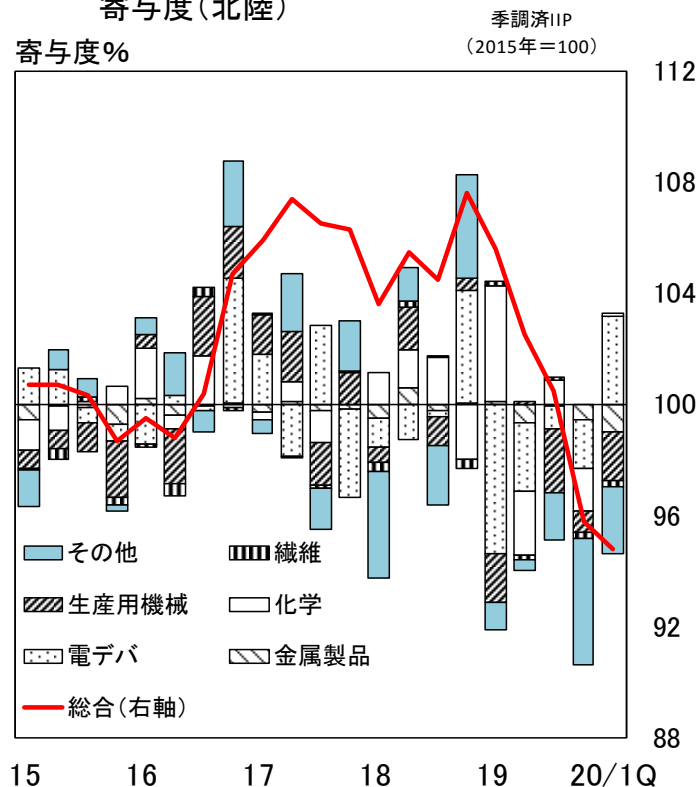
■ 北陸の鉱工業生産指数をみると、海外経済減速等の影響を受けて、2019年入り後から低下しはじめ、足もとでは新型コロナの影響もあり、更に低下している。

【図表6】鉱工業生産指数  
(季調済、後方3か月移動平均)



(注)直近は2020/5月。下グラフは、北陸の主要業種別の推移。  
(出所)中部経産局電力・ガス事業北陸支局「北陸地域の鉱工業生産指数」、経済産業省「鉱工業指数」

【図表7】鉱工業生産指数(季調済)の業種別寄与度(北陸)



(注)前期比寄与度(四半期ベース)。実線は指数。直近は2020/1Q。  
(出所)中部経産局電力・ガス事業北陸支局「北陸地域の鉱工業生産指数」

【図表8】主要製造品・生産県

業種	主要製品	主要生産県
電子部品・デバイス、電気機械	コンデンサ	福井
	液晶ディスプレイ	石川
	モニター	石川
	電源	富山
一般機械	建設機械	石川
	繊維機械	石川
	金属加工機械	石川、富山、福井
	半導体製造装置	富山
	軸受、工具	富山
化学	医薬品	富山
	界面活性剤	福井
	プラスチック樹脂	福井
金属製品	アルミ建材	富山
繊維	衣料用織物	福井、石川
	カーシート生地	福井
その他製造業	眼鏡枠	福井
	ファスナー	富山
	パーティション	石川

(出所)北陸経済連合会・北陸電力「北陸のシェアトップ150」、中部経産局電力・ガス事業北陸支局「北陸地域鉱工業生産指数 平成27年(2015年)基準改定の概要」を基に日本銀行金沢支店が作成。

【図表9】北陸3県の指定伝統的工芸品

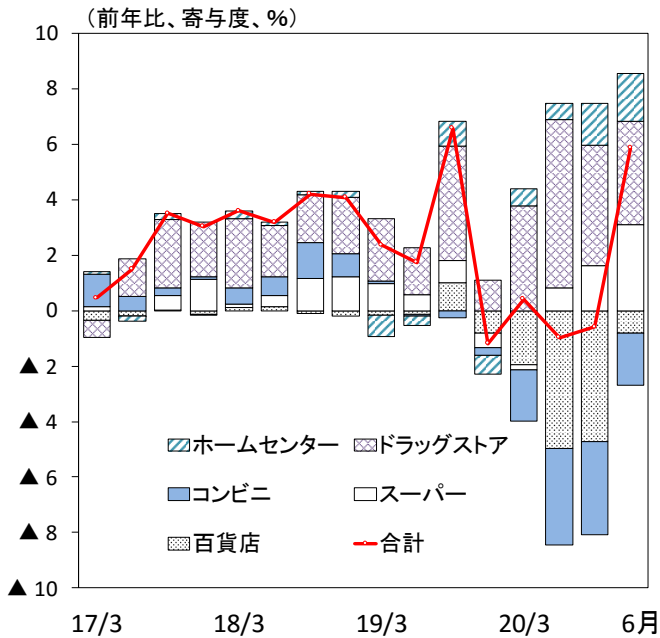
富山	石川	福井
高岡銅器	加賀友禅	越前漆器
井波彫刻	九谷焼	越前和紙
高岡漆器	輪島塗	若狭めのう細工
越中和紙	山中漆器	若狭塗
越中福岡の菅笠	金沢仏壇	越前打刃物
庄川挽物木地	七尾仏壇	越前焼
	金沢漆器	越前筆筒
	牛首紬	
	加賀繡	
	金沢箔	

(注)「伝統的工芸品産業の振興に関する法律」に基づき経済産業大臣により指定された伝統的工芸品。  
(出所)伝統的工芸品産業振興協会「伝統的工芸品指定品目一覧・都道府県別」

(5) 個人消費

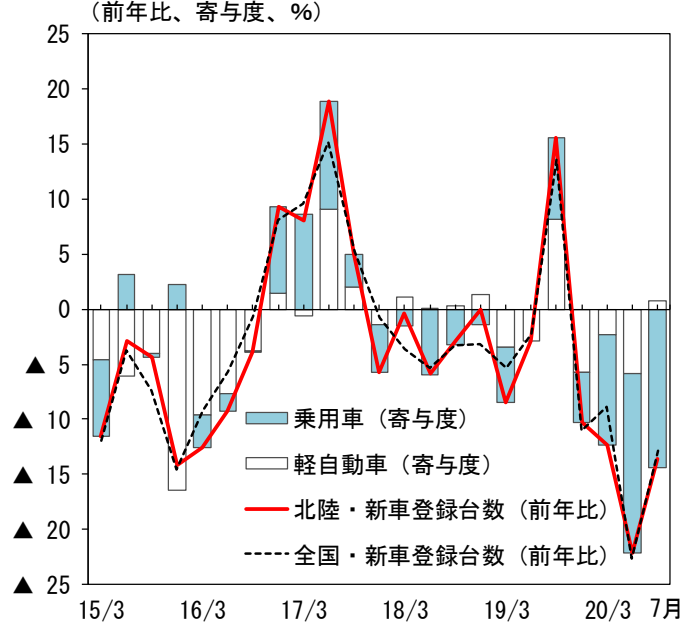
■ 個人消費は、新型コロナウイルス感染症の影響から大幅に減少した後、足もとでは下げ止まっており、一部に持ち直しの兆しがみられるが、その持続性には不透明感が強い。

【図表 10】小売5業態売上高前年比・寄与度(北陸)



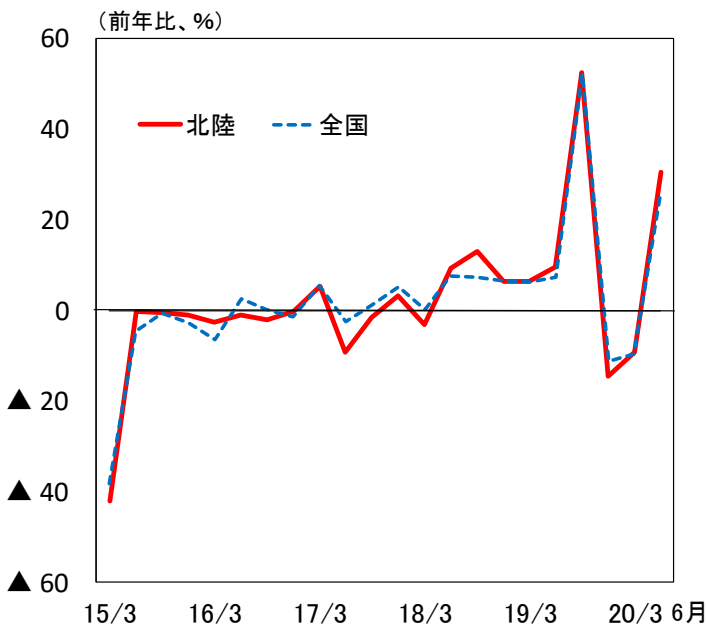
(注) 四半期毎の表示(但し、2020/3月以降は月次ベース)。直近は2020/6月。  
(出所) 中部経産局電力・ガス事業北陸支局「北陸地域の百貨店・スーパー販売概況」、経済産業省「商業動態統計」

【図表 11】新車登録台数前年比



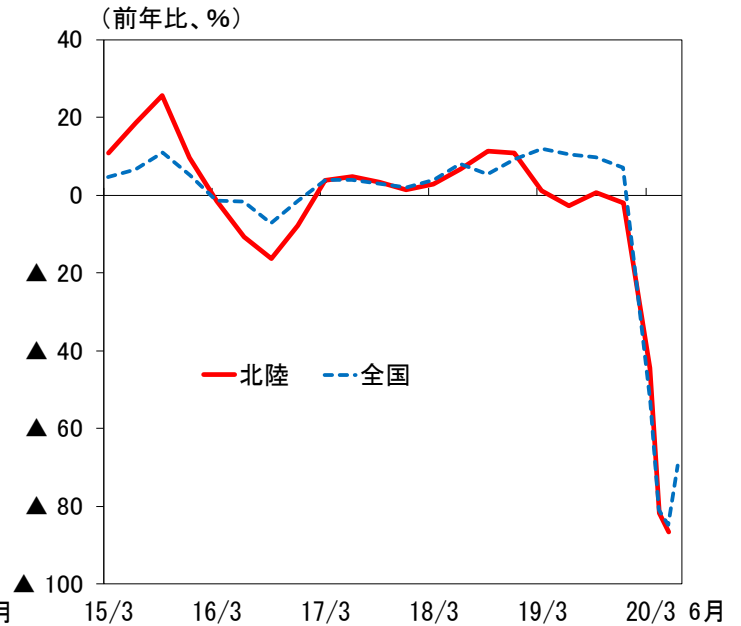
(注) 四半期毎の表示(但し、2020/6月以降は、月次ベース)。直近は2020/7月。  
(出所) 日本自動車販売協会連合会「新車販売台数」、全国軽自動車協会連合会「軽四輪車新車販売」、富山県自動車販売店協会「車種別ナンバー別新車登録台数」、軽自動車検査協会富山事務所「検査対象軽自動車保有車両移動月報」、石川県自動車販売店協会「新車販売実績表」、福井県自動車販売店協会「車種別・月別新車登録台数」

【図表 12】家電大型専門店販売額前年比



(注) 四半期毎の表示。直近は2020/6月。  
(出所) 経済産業省「商業動態統計」

【図表 13】宿泊旅行客数前年比

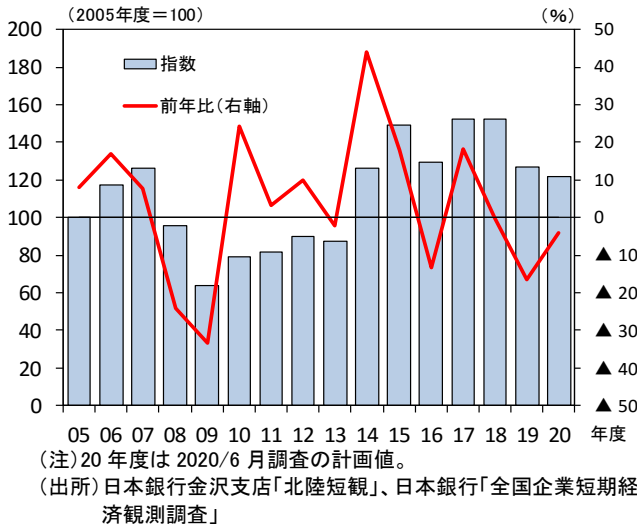


(注) 四半期毎の表示(但し、2020/3月以降は月次ベース)。直近は北陸が2020/5月、全国が2020/6月。  
(出所) 観光庁「宿泊旅行統計調査」

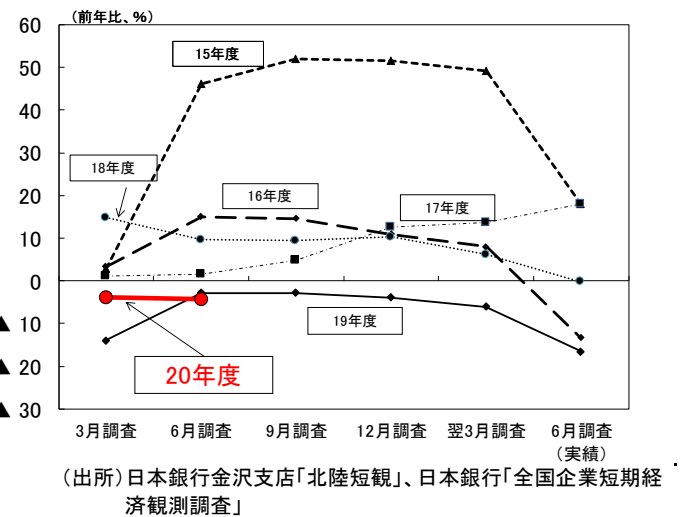
(6) 設備投資、住宅投資、公共投資

- 2020年度の設備投資は、能力増強・省力化投資がみられているものの、大型投資の一巡に加えて、新型コロナの影響などを背景とする収益の悪化や先行き不透明感により投資の抑制・先送りの動きがみられていることから、弱めの計画となっている。
- 住宅投資は、2019年は増加したものの、2020年入り後は弱い動きとなっている。
- 公共投資は、新幹線延伸工事や国土強靱化関連工事などから、増加している。

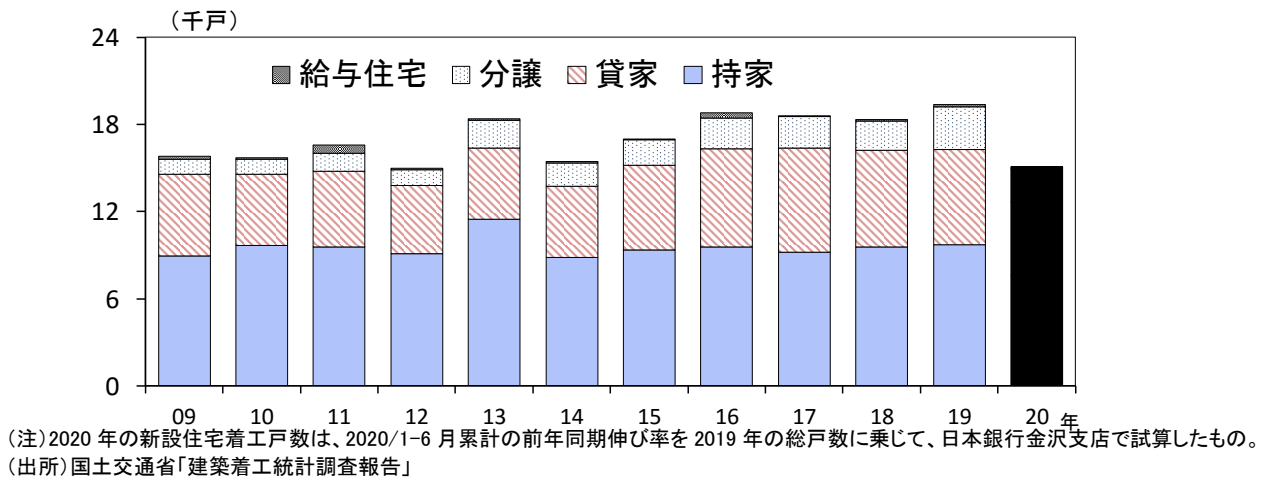
【図表 14】北陸短観・設備投資額水準の指数及び前年比



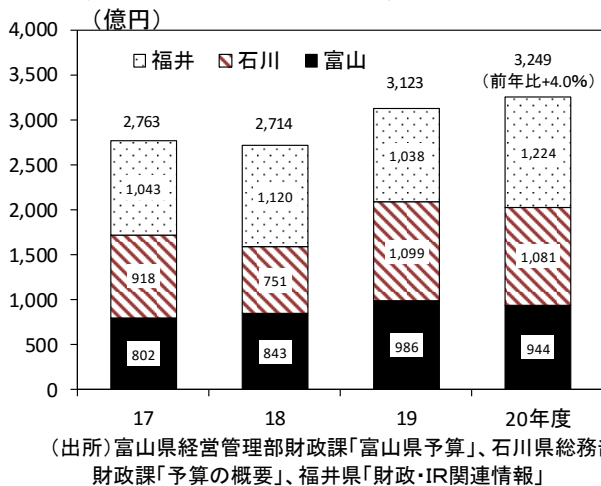
【図表 15】北陸短観・設備投資額前年比足どり



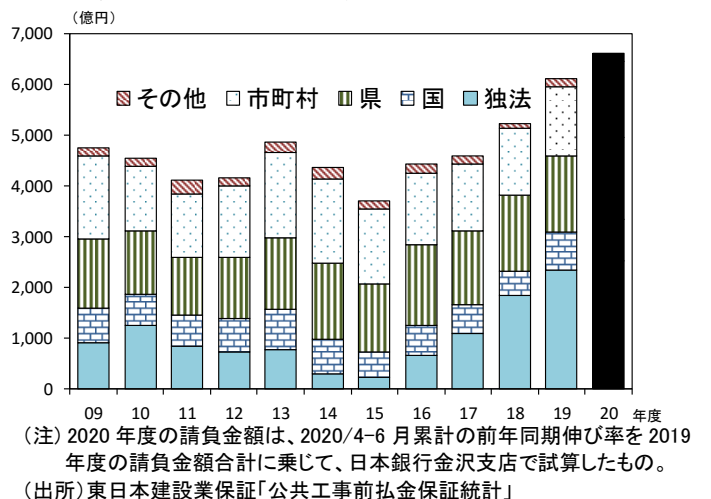
【図表 16】住宅着工戸数(北陸)



【図表 17】北陸3県当初予算推移(投資的経費)



【図表 18】公共工事請負金額(北陸)

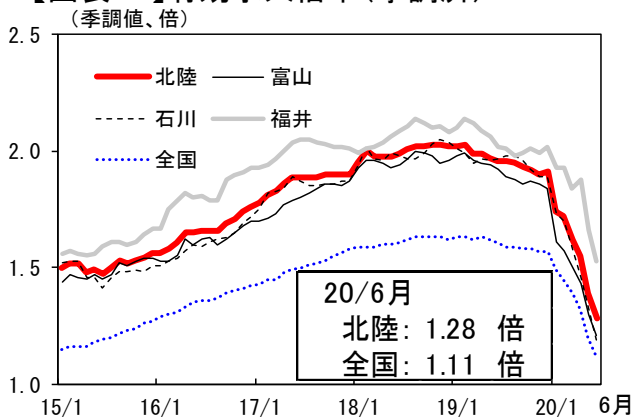




(7) 雇用・所得

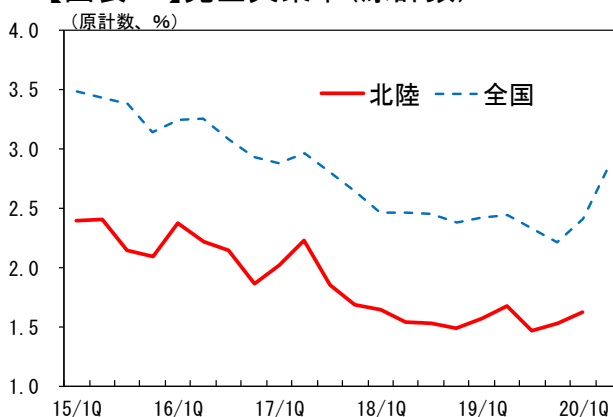
- 新型コロナの拡大を背景に、北陸3県の有効求人倍率は、全国を上回る水準ながらも、急速に低下している。また、完全失業率は、全国を下回る水準ながらも、幾分上昇している。
- 北陸の雇用者所得は、弱い動きとなっている。

【図表 19】有効求人倍率(季調済)



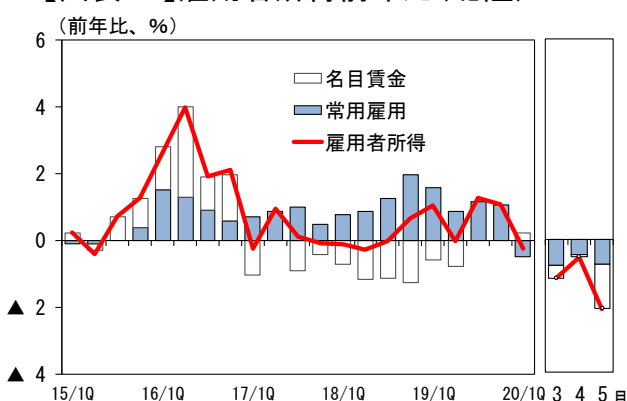
(注)直近は2020/6月。  
 (出所)厚生労働省「職業安定業務統計」、富山労働局「富山県の雇用情勢」、石川労働局「最近の雇用失業情勢」、福井労働局「労働市場月報」

【図表 20】完全失業率(原計数)



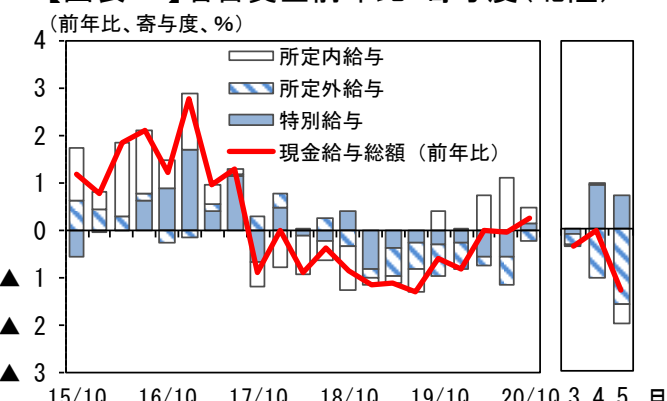
(注)四半期ベース。直近は北陸が2020/1Q、全国が2020/2Q。  
 (出所)総務省「労働力調査」

【図表 21】雇用者所得前年比(北陸)



(出所)厚生労働省、富山県、石川県、福井県「毎月勤労統計」

【図表 22】名目賃金前年比・寄与度(北陸)



(出所)厚生労働省、富山県、石川県、福井県「毎月勤労統計」

BOX: 北陸地域の有効求人倍率の高さについて

■ 当地の有効求人倍率が他地域に比べて高い背景には、北陸が域外需要を多く取り込んでいる「モノづくり」の拠点が集積している需要側の要因と、女性や高齢者の就業率が既に他地域と比べて高く、追加的な労働参加余力が限られているという供給側の要因が挙げられる。

(地域別就業率)

	女性		高齢者	
		(%)		(%)
1位	北陸	51.6	北陸	24.9
2位	東海	50.2	関東・甲信越	24.7
3位	関東・甲信越	49.3	東海	24.6
4位	九州・沖縄	47.9	中国	23.2
5位	中国	47.8	東北	22.8
6位	東北	47.6	四国	22.7
7位	四国	47.0	近畿	21.9
8位	近畿	46.1	九州・沖縄	21.4
9位	北海道	45.3	北海道	20.0

(注)2015年の計数。(出所)総務省「国勢調査」

(8) 金融面

- 北陸3県には、地域銀行6行、信用金庫 16 庫が本店を有している。北陸3県に本店を有する金融機関数は、ここ 20 年で、信用金庫を中心に▲3割強程減少している。
- 業態別の預貸金のシェアをみると、地域銀行が最も高いシェアを占めており、残高増加の牽引役も地域銀行となっている。

【図表 23】金融機関数

▽2000年3月末 (単位:先)					▽2020年7月末 (単位:先)					
	地銀	第二地銀	信金	合計		地銀	第二地銀	信金	合計	2000年3月末差
富山県	2	1	11	14	富山県	2	1	7	10	▲ 4
石川県	1	1	7	9	石川県	1	0	5	6	▲ 3
福井県	1	1	7	9	福井県	1	1	4	6	▲ 3

(出所) 日本銀行金沢支店

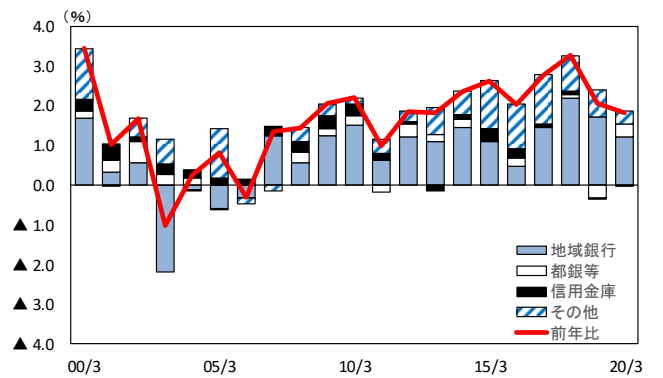
【図表 24】業態別預金シェア

	預金 (単位:%)				
	国内銀行	預金		信金	その他
		地銀	第二地銀		
北陸	56.3	45.7	5.7	14.5	29.2
富山県	56.9	42.7	10.5	12.4	30.7
石川県	58.2	50.6	0.4	14.4	27.4
福井県	52.6	43.4	5.8	18.0	29.5

(注) その他は、信組、農林中金、信農連、農協、信漁連、労働金庫、商工中金。

(出所) 日本銀行金沢支店

【図表 25】預金残高前年比(北陸)



(注) その他は、信組、農林中金、信農連、農協、信漁連、労働金庫、商工中金。

(出所) 日本銀行金沢支店

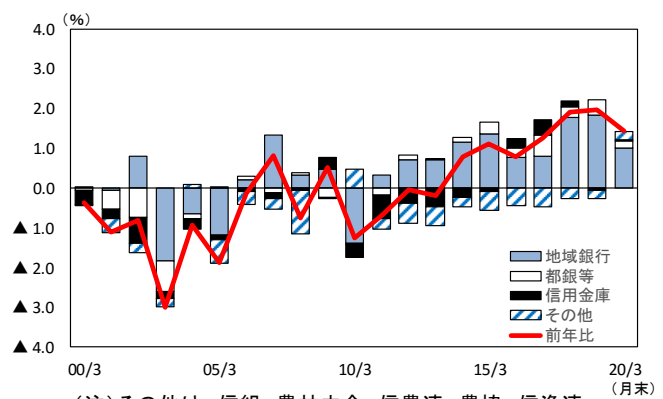
【図表 26】業態別貸出金シェア

	貸出金 (単位:%)				
	国内銀行	貸出金		信金	その他
		地銀	第二地銀		
北陸	69.3	56.5	7.3	14.2	16.5
富山県	75.1	56.1	12.8	11.4	13.5
石川県	67.2	59.6	1.0	14.8	18.0
福井県	63.8	52.4	9.0	17.4	18.8

(注) その他は、信組、農林中金、信農連、農協、信漁連、労働金庫、商工中金、日本政策金融公庫(国民生活事業・中小企業事業)。

(出所) 日本銀行金沢支店

【図表 27】貸出金残高前年比(北陸)



(注) その他は、信組、農林中金、信農連、農協、信漁連、労働金庫、商工中金、日本政策金融公庫(国民生活事業・中小企業事業)。

(出所) 日本銀行金沢支店